



2023 年度
第 13 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
大韓サッカー
協会前の
記者会見見聞録



2
生活体育指導者の
安定した生活を通じて
国民の健康も共に増進さ
れなければならない



3
相次ぐ空振り…
サッカー協会長
鄭モンギョ
リーダーシップ致命打



4
ユース選手の自殺問題
11 ヶ月ぶりに実現した
金浦市長との面談



5
ラグビー部「校内暴力」で
被害生徒は夢をあきらめ
加害者は
名門高校に行った

6
暴言と
パワハラ被害が
日常的な
ゴルフ場キャディー

大韓民国スポーツの
根本的変化を
皆さんと共に
作って行きたいです
体育市民連帯と共に
していただけますか？



01 2023. 03. 31 文化連帯、スポーツ人権研究所、体育市民連帯 共同声明 大韓サッカー協会前の記者会見声明書

大韓サッカー協会は八百長犯罪と不正行為で懲戒中の 100 人の赦免措置を直ちに撤回せよ！

大韓サッカー協会の鄭夢準（チョン・モンギョ）会長と理事会はサッカーファンに謝罪し、責任を持って辞任せよ！

文化体育観光部と大韓体育会は、この事態の過程と根拠に対する真相調査を実施せよ！

「自分の身を削るような痛みがあっても、サッカーの基本精神を阻害するすべての癒的存在は切り取らなければなりません。中途半端なその場しのぎでは、残りのほとんどの正直な選手まで罵倒して汚染させるなど、さらに大きな災いを招くだけです」

K リーグ八百長事件の波紋が続いた 2011 年 5 月、当時韓国プロサッカー連盟総裁だった鄭モンギョ大韓サッカー協会会長が発表した謝罪文に出てくる文章だ。それから 12 年が過ぎた 2023 年 3 月 28 日、大韓サッカー協会が理事会で 2011 年プロサッカー八百長で除名された選手 48 人を含め各種不正行為で懲戒を受けた選手、指導者、審判、団体役員など計 100 人の赦免を議決したと奇襲発表した。「昨年達成した W 杯 10 回連続進出とカタール W 杯ベスト 16 入りを祝う」、「サッカー界の和合と新たな出発のために赦免を建議した現場の意見尊重」が赦免の理由だ。

一体 W 杯 10 回連続進出とカタール W 杯ベスト 16 入りが犯罪と不正行為を犯した彼らの赦免と何の関係があるのか？「お祝い」の席になぜ赦免を持ち出すのか！ただ自分たちの陶醉感で八百長はもちろん、分からない数多くの不正行為を犯した人々を許すということか？彼らを赦免すればサッカー界が「和合」するのか？八百長と不正行為に免罪符を与えれば、韓国サッカーは新たなスタートを切ることができるだろうか？どのような権限と権威で赦免をむやみに決めるのか！

K リーグの八百長事件は、韓国サッカー史上最悪の事件だった。八百長波紋以後、K リーグは非常に長い間痛みを経験した。指導者と選手がお互いを信じられず、チームに向けたファンの信頼も崩れた。汗を流して正直に行った試合も嘘になった。

八百長に加担した選手が命を落とす胸の痛む出来事まで起きた。現大韓サッカー協会理事会の相当数が、誰よりもその痛みをよく知っている人たちだ。ところで、12 年ぶりにその痛みをすべて忘れたのか？

この 12 年間、K リーグは信頼回復のために「身を削るような痛み」に耐え、二度とその痛みを繰り返さないために最善を尽くしてきた。そんな努力を協会が一夜にして水の泡にしようとするのか？「勝つためではなく生きるために走った」という選手を協会は忘れたのか？あなたたちが言う「サッカー界」と「現場」にすべてのサッカー関係者とファンを一つにまとめることができると思うか？

大韓サッカー協会の今回の決定は、競技場で最高の試合、最善の勝負のために懸命にプレーした選手たちを冒瀆し、サッカーを心から愛するファンたちを愚弄する決定ではないか。現在、W 杯以後興行街道を走っている K リーグに冷水を浴びせ、韓国サッカーの根幹を揺るがす惨憺たる事件だ。

「サッカーに害になる不正と腐敗、差別と暴力を排撃する」

大韓サッカー協会のホームページに書かれたサッカー人憲章の一つだ。これは協会が自ら結んだ社会的約束だ。これ以上過ちを犯さないと公表した原則だ。協会はこの原則を自ら裏切るのか！彼らが戻って活動を再開する際に発生しうる問題と影響については考えてみたか？後続の安全装置は思い出したか？

今回の赦免決定は八百長再発防止に対する大韓サッカー協会の意志さえ疑わせる。これを予想したかのように報道資料で「国内すべての試合で（八百長）事件が再発しないよう予防と監督を徹底する予定」と明らかにしたが、八百長も時間が経てば赦免が可能な犯罪だという事実を協会自ら認めた格好だ。赦免対象から「性暴力やセクハラにかかわった人は除外した」というが、赦免者名簿さえ公開しない状況でその主張も信じられないのは同じだ。こうなるなら、そもそも懲戒はなぜしたのか！

懲戒の理由と軽重はサッカーというスポーツで発生する行為が社会文化的に及ぼす影響が相当であることを前提にしている。除名を含めた懲戒が厳しく、遵守されなければならない理由だ。「大衆とファンの前に出なければならないすべてのサッカー関係者は、韓国社会が要求する以上に厳格な道徳的基準を備え、他人の模範にならなければならない」と2011年謝罪文で鄭モンギョ会長が直接言ったのではないか！懲戒の手続きと結論に関するすべての決定の根拠は、ひたすらサッカーファンと大衆、そしてスポーツ精神にならなければならない。根拠さえ納得しがたい今の決定がサッカーの未来をどれほど暗鬱にさせるのか、大韓サッカー協会の鄭モンギョ会長と理事会は本当に知らないのか？

今回の決定は単なる誤判や根拠の不足ではない。今回の決定を主導して同意したすべての大韓サッカー協会関係者は、今回の決定に対して切実に反省し、辞任しなければならない。大韓サッカー協会の名誉とサッカーの名誉がかかっている。現場のサッカー人とサッカーファンが守ってきたサッカーとスポーツの名誉にむやみに泥を塗るな！

鄭モンギョ会長と大韓サッカー協会に求める。

一、**2023年3月28日に発表した八百長犯罪と不正行為で懲戒中の100人の赦免案を直ちに撤回し懲戒を維持せよ！**

一、**鄭モンギョ会長をはじめ、該当赦免案を提示して議決した大韓サッカー協会理事会は、サッカーファンと国民に謝罪し辞任せよ！**

一、**文化体育観光部と大韓体育会は、この事態の過程と根拠に対する真相調査を実施せよ！**

02 体育市民連帯コラム

生活体育指導者の安定した生活を通じて 国民の健康も共に増進されなければならない

我が国のすべての生活体育指導者は正規職になりつつある。しかし、詳しく調べれば処遇改善のない無期契約職であり政府と地方自治体の賃金ガイドラインと号俸制導入が必要だ。

生活体育指導者は文化体育観光部が主管する民間委託事業で2000年から始め、現在全国228自治体傘下の体育会に所属している職種で成人、高齢者、幼少年体操、ダンスなど各種生活体育プログラムを指導しながら生活体育底辺拡大をさせている。同時に2008年からは障害者生活体育指導者が特殊学校、特殊学級、そして障害者福祉施設と疎外階層施設などを訪ねて生活体育プログラムを指導し健康な生活を維持改善させるために努力している。

多くの体育専攻の学生が大学を卒業しながら最も簡単に接することができる職業が生活体育指導者であるため、一度はこちらの職業を考えたりもする。私も先輩、知人、特に直系家族である姉が旧体育会所属で生活体育指導者をしていたため学部の時に関心を持ったが、色々な処遇が良くなって他の職業を考えてみると勧められた。その後、障害者体育ボランティアをしながら特殊体育に目覚めるようになり、今は特殊体育講師という職業を持つようになり生活体育指導者についてしばらく忘れて生きてきた。

私は2019年障害、非障害者生活体育指導者処遇改善法案が国会を通過したという記事をエイブルニューズインターネット記事で見ることができた。その記事内容は現在の生活体育指導者たちは1~2年単位の再契約をしなければならない不安な雇用環境だけでなく勤労条件改善問題が長期間放置され生活体育指導者たちに対する処遇と福利事項を地方自治体生活体育振興基本計画に反映しなければならないよう法制化したということだった。その時まで生活体育指導者たちの処遇改善のための色々な政策議論事項が国会討論会と市、道、郡であったが、このように法制化されていなかったため大きな意味を持った。

その後、2020年8月、政府の公企業内非正規職の撤廃および正規職転換施策により文化体育観光部は国費と地方費を各50%ずつ負担する方式で全国228市・郡・区体育会所属の障害、非障害生活体育指導者2800人余りを2021年から正規職に切り替えることになっている。その内容をよく見ると、契約期間のない無期契約職身分で一般正規職が享受する毎月30~40万ウォン程度の福利厚生費も受け取れない号俸も上がらない状態で、契約職と正規職の中間形態で定年まで保障されるが、賃金や福祉水準で契約職水準で維持されたり少し低く策定されているということだ。

年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
基本給(月)	172万	172万	172万	172万	182万	189万	192万	204万	205万	208万
最低賃金(月)	101万	109万	117万	126万	135万	157万	174万	179万	182万	191万
最低賃金との差	71万	63万	55万	46万	47万	32万	18万	25万	23万	16万

※生活体育指導者の賃金が最低賃金に収斂している

果たしてこの給与で専門体育関連専門人材が持続的に生活体育指導者をすることができるだろうか？今まで正規職転換を目標に持ちこたえていた指導者の方々にはあまりにも虚妄感を与えるものなのだ。

今回文を書くために調査しながら知った新しい事実一つは、同じ職種であるにもかかわらず、地域によって最大月200万ウォンの賃金格差があるという事実を知ることになった。文化体育観光部が告示した(2022年基準208万ウォン)のほか、各種手当を地方自治体が個別に支給しており、地方自治体支援程度や労組交渉などの要因によって同じことをしても最大月200万ウォンの賃金格差が発生していた。これもまた、生活体育指導者に大きな虚脱感を与えるものだ。

連番	広域	基礎	月給(税前)	主要手当項目
1	江原	麟蹄郡	413万ウォン	7級公務員処遇準用
2	京畿	議政府市	332万ウォン	食費、交通費、勤続手当、名節賞与金、家族手当、福祉ポイント
3	全南	長城郡	324万ウォン	自治体公務職水準準用
4	済州	済州市	274万ウォン	交通費、食費、転勤手当、福祉ポイント、名節賞与金、家族手当
5	ソウル	冠岳区	267万ウォン	食費、交通費、勤続手当、時間外手当

6	大邱	北区	248 万ウォン	食費、交通費、勤続手当、名節賞与金
7	全北	長水郡	247 万ウォン	食費、名節賞与金、家計支援費
8	蔚山	中区	240 万ウォン	食費、交通費、名節賞与金、勤続手当
9	全南	高興郡	218 万ウォン	交通費(距離)、名節賞与金(30 万*2)、活動費(10 万)

※同一職種同一業務をするにもかかわらず地域別に賃金格差が激しく最大月 200 万ウォンまで格差

※1 年目と 22 年目の賃金と同じ場合がほとんど

生活体育指導者の処遇改善問題に対する議論は依然として進行中であり、越えなければならない山が多いが、肯定的な部分はいくつかの自治体でも少しずつ問題に対する認識をし改善しようと努力しているということだ。例えば、現在全羅南道体育会は全羅南道庁の公務職に準ずる賃金水準を適用し、京畿道体育会議政府市、加平郡、平沢市の場合は勤続手当が加算され、仁川広域市体育会は地方公務員 9 級 7 号俸制適用、勤続手当全体経歴認定、江原道麟蹄郡体育会は地方公務員 7 級処遇、蔚山広域市東区体育会は体育会が管理する施設など他職種号俸制に生活体育指導者賃金体系を編入させて号俸制を施行している。最近、光州東区は生活体育指導者の号俸制転換に合意した。

生活体育指導者に関する研究論文でも共通して勤続年数にともなう賃金格差の必要性和号俸制に対する政府次元の対策準備を強調している。生活体育指導者が生活体育普及と地域住民の健康増進と予防次元で業務に執政できるよう政府が積極的に乗り出し、生活体育指導者に対する国費支援額を高められるようにしなければならない。賃金ガイドラインもまた、地方自治体の財政状況による報酬偏差を減らせるよう、号俸制導入を一日も早くすることを待ちわびている。

そして生活体育指導者の安定的な勤務環境の中で、韓国各自治体地域住民の健康をサポートする指導者として、大韓民国国民の健康守り人としてその役割を期待する。

*表 1 と 2 は民選体育会時代の生活体育活性化のための生活体育指導者人権および処遇改善討論会を抜粋

03 KBS ニュース 2023. 03. 31

相次ぐ空振り…サッカー協会長、鄭モンギョ、リーダーシップ致命打



[アンカー]

八百長加担者などを赦免しようとして 3 日後に撤回した大韓サッカー協会の鄭モンギョ会長は、今回の事態でリーダーシップに大きな打撃を受けました。拙速行政によってファンの信頼を失ったサッカー協会、鄭会長に向けた非難世論は依然として残っています。イ・ジュンヒ記者の報道です。

[レポート]

2011 年八百長事態が起きた時、プロサッカー連盟の首長資格で頭を下げなければならなかった鄭モンギョ総裁。

12 年後、大韓サッカー協会の会長鄭モンギョは反対に八百長加担者を救済するために赦免カードを取り出したが、激しい逆風を受けて全面撤回しました。

[鄭モンギョ/大韓サッカー協会会長:「大変ご心配をおかけしたことを改めて頭を下げお詫び申し上げます。」]

サッカー界を揺るがした今回の事件で、体育市民連帯は鄭モンギョ会長の辞任まで取り上げました。

[イ・デテク/国民大教授:「この程度の運営方式を持った執行部なら執行部皆が退かなければならないと考え、会長が含まれなければなりません。」]

3日ぶりに赦免を撤回する荒唐無稽な寸劇を含め、鄭会長の独断的なリーダーシップは常に批判の対象でした。

3年前に高等サッカー連盟を解散させ被訴されたサッカー協会は、裁判所の一審裁判で敗訴しました。

内政で弱点を露呈して相次いで空振りをしている間、韓国サッカーの外交力は底に落ちました。

鄭会長は4年前の FIFA 評議員選挙と AFC 副会長選挙に相次いで落選し、今年初めの FIFA 評議員選挙でも落選しました。

国際舞台で独りぼっちな境遇を免れなかった鄭会長は、今回の赦免撤回事態でリーダーシップが大きく揺れることになりました。

出典: <https://v.daum.net/v/20230331215936166>

04 世界日報 2023.03.28

ユース選手の劇団選択、11ヵ月ぶりに実現 市長との面談、金浦市、積極的な措置を約束



昨年発生した国内プロサッカー金浦 FC ユース選手の劇団選択事件と関連し、球団オーナーの金ビョンス金浦市長が28日、遺族側と会って被害回復などの措置が円滑に行われるよう努力すると約束したことが分かった。

しかし、市民球団の形式上、球団オーナーである市長と遺族側の実質的な面談が実現するまで、事件発生後1年近く時間が経ったという点で、市が批判を避けることは難しそうだ。

亡くなった幼少年選手の父親 A 氏 (48) は同日午後、金浦市役所前で取材陣に会い、このように話した。

先立って同じ日、法律代理人と同行した A 氏は午後3時から1時間余り進行された金市長との面談で球団の「職務停止」措置が下されたコーチなどに対する解任など具体的な要求事項を伝達した。

幼少年選手の極端選択加害者として名指しされたコーチ2人などが厳然と金浦 FC という球団の名誉を失墜しただけに、金市長が球団主として彼らの「解任」等、強力な措置を下さなければならないというのが A 氏側の主な要求だ。

これを金浦市が受け入れるかどうかはまだ確実ではなく、遺族側は今後の市の決定などを見て、それに伴う対応をしていく計画だ。

A 氏は「金浦 FCに残った子供たちが被害を受けないことを願っている」とし「今後(金浦市の)措置が無難になされればコーチ・監督との戦いで行きたい」と話した。合わせて1時間余りの面談がなされたことに対しては「私が持っている情報を共有し、その部分に対しても金ビョンス市長が認知した」と付け加えた。

遺族側と市長が会って対話し、また市長が積極的な措置を約束した点は肯定的だが、このような出会いが実現するまで何と11ヶ月近くかかったという点で金浦市が批判を避けることは難しそうだ。

球団18歳以下のチーム(U-18)でプレーしていたA氏の息子は昨年4月、京畿道金浦市にある球団ユースチームの寮前で死亡した状態で発見された。周辺閉鎖回路(CC)TV映像分析の結果、事件当日午前2時頃、自分が居住していたところで極端な選択をしたことが確認された。

遺書には言語暴力などで苦しめた加害者推定人物が言及された。

A氏は息子の死を知らせ、また別の被害者を防ぐために事件発生から1年が近づくまで孤軍奮闘している。

地方に家があるA氏は今年に入ってソウルに滞在する時間が多くなり、金浦市会議員に会ったのに続き、マスコミ報道などを通じて事情を聞いた体育市民連帯など関連団体の支援も受けている。

団体はA氏の息子の誕生日である14日、真相究明と責任者処罰を促す内容の抗議書簡を金浦市に伝達したのに続き、21日にはソウル鍾路区サッカー会館を訪れ大韓サッカー協会側にも似たような内容の公開質疑書を伝えた。

A氏は文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターの審議委員会が1月、金浦FC U-18監督とコーチ陣に「懲戒要請」を議決した点などを挙げ、6日法律代理人を通じて仁川地方裁判所富川支院に幼少年チームを相手にした営業停止仮処分申請書を提出した。仮処分申請尋問は来月中に予定された。

A氏は20日、指導者などが管理・監督義務を怠った時、球団にも関連懲戒を賦課できるという大韓サッカー協会公正委員会規定を挙げ金浦FCに対する懲戒を促す陳情書も協会側に提出した。同規定は、選手に対する基本権侵害事案と関連し、球団に罰金や勝ち点減点などの懲戒を下すことができるとしている。同日、1回目の公取委を開き、A氏側の供述を聞いた協会は、2回目の開催も予告した。

加害者として名指しされたコーチ3人の職務は最近になって停止された。彼らと昨年契約を延長し、指弾を受けた球団側は、捜査結果が明確に出るまで共同責任のための趣旨だったと抗弁している。体育界では事件の重大性を挙げ、契約留保が遺族のためにより適切だったという批判が一部出ている。

事件を捜査中の金浦警察署は2月と3月、スポーツ倫理センターに資料協力要請公文書を送った。監査権限も捜査権もない倫理センターに協力を要請したことをめぐり、うわさが出ると、警察側は事件を幅広く把握しようという趣旨だったと説明した。警察は近く事件の結論を出す方針だ。

金浦FCは17日、ホームページでソ・ヨンギル代表理事名義の謝罪文を載せ「故人になった選手と遺族に深い慰労と謝罪の言葉を申し上げる」と知らせた。続けて「非常対策委員会議決で関連指導者3人の措置をしようとした」として「規定と行政という名目で遺族期待に及ばなかった点に対してもう一度心より深い謝罪の言葉を申し上げる」と伝えた。

ソ代表は21日、世界日報との通話で「遺族の意思に従いすべての手続きを徹底的に進めた」と強調した。

U-18チームのコーチ陣再契約論議に関しては「すべての捜査結果が出れば厳しく処罰するという前提があった」とし、その当時更迭すれば残りの選手たちを教えることができなかつたという趣旨で避けられない措置であることを強調した。当時、非常対策委の承認を経てコーチ陣の再契約が行われ、理事会にも報告されたというのがソ代表の説明だ。それと共に「球団のできる限り最善を尽くした」とし「徹底した行政手続きを経て最大限礼遇するため努力している」と重ねて述べた。

出典：<https://www.segye.com/newsView/20230328521397?OutUrl=naver>

05 ソウル新聞 2023. 03. 30

ラグビー部「校内暴力」で被害生徒の夢をあきらめたが 保護処分だけを受けた加害者は名門高校に行った

ラグビー部 学폭 사건 일지

2022년 6월 22-23일	ラグビー부 소속 가해 중학생 2명, 같은 팀 학생 성추행
6월 27일	피해 학생, 고소 및 학교폭력 신고
10월 4일	학폭대책심의위, 가해 학생들에게 교내봉사 4-8시간 등 조치
12월 13일	검찰, 가해 학생들 서울가정법원 (소년부) 송치
2023년 3월	서울가정법원, 가해 학생들에게 1호 (보호자 등 감호위탁) 처분

ソウルのある中学校ラグビー部で発生した「セクハラ学校暴力(校内暴力)」事件で被害生徒は精神科治療を受けて運動をやめた反面、加害生徒はラグビー体育特招生として有名高校に進学したことが把握された。加害生徒たちは校内奉仕と少年保護処分を受けた。

29日、ソウル新聞の取材を総合すると、ソウル某中学校ラグビー部所属だったA君(16)とB君(16)らは昨年6月、全国ラグビー選手権

大会に参加するため、地方のある宿舎に滞在していたところ、被害生徒であるC君(16)の身体部位を数回触ってセクハラをし、セクハラ発言をした。当時、C君は足の負傷などで身体活動が自由ではなく、反抗をまともにできなかったという。数日後、C君は学校に正式に問題を提起した。昨年10月、学校暴力対策審議委員会はA君とB君の行為を校内奉仕4~8時間措置で事件を終えた。被害学生側は当時ラグビー部監督が「同僚同士でラグビーと一緒に進学しなければならないのではないか」として「我慢して通り過ぎ譲歩しなければならない」という趣旨でC君を懐柔し2次加害もしたと主張している。

ただし該当監督はソウル新聞との通話で「懐柔趣旨の話をしたことはない」として「被害者側の要請により直ちに分離措置し謝罪もさせるようにした」と明らかにした。それと共に「被害生徒を考えれば胸が痛く、学校側ではできる措置を全てしたと理解している」と付け加えた。ラグビー部長は「C君も教え子だが、当時そのまま進めようという話はしなかったと記憶している」と話した。

C君は刑事告訴も進めた。これを捜査した警察は事件を検察に送致し、検察は昨年12月、A君とB君を性暴行処罰法上の特殊強制わいせつなどの疑いでソウル家庭裁判所少年部に送致した。少年部送致は満19歳未満の青少年が犯罪を犯した場合、成人のような刑事処罰ではなく保護処分のために少年保護裁判を進める手続きを意味する。

A君らは最近、ソウル家庭裁判所で最もレベルの低い1号保護処分を受けたことが分かった。1号保護処分は、保護者や保護者に代わる者等に監護委託する措置である。保護処分は前科記録が残らない。C君は感情調節障害、パニック障害の症状で、現在も精神科治療を受けている。また、ラグビー選手の夢をあきらめて一般高校に進学した。一方、A君らは有名高校にラグビー体育特招生として進学した。

これに対して加害生徒側の両親はソウル新聞との通話で「一緒に運動して親しく過ごしていた友人同士が一度の過ちでこうなったことは残念だ」とし、「被害生徒と保護者に着実に謝罪してきたし、再び申し訳ない気持ち」と話した。加害生徒たちの少年保護裁判は非公開が原則であり、C君は最近までも自分が被害者である事件の裁判経過を知らずもどかしさを訴えていたという。現在、法務部は被害学生が事件処理手続きから疎外されないよう「裁判所が少年保護事件審理期日・場所を被害者に通知する制度」と「少年司法手続きでの被害者参加権保障」等を盛り込んだ法案改正を推進中だ。昨年12月に発議され、現在国会法制司法委員会に保留中だ。

出典：https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20230330009010&wlog_tag3=naver

暴言とパワハラ被害が日常的なゴルフ場キャディー



8年目のゴルフ場競技補助員（キャディー）A氏（37）は、3ヵ月間練習生期間を経て新入キャディーになった瞬間を忘れることができない。「女が子供を育てながらやりやすい職業」という話を聞いて始めたことだった。「キャディー150人全員自分の番号を持っています。運動選手の背番号みたいに。私の番号ができたという事実が良かったです。嬉しかったです」

期待に膨らんだ気持ちはあまり続かなかった。男性顧客4人の試合支援に出た席だった。「お前（性関係）何回までやってみたの？」ある顧客が名刺を渡していきなり尋ねた。他の顧客はA氏へのセクハラが聞こえないように行動した。顧客の下ネタは試合が終わるまで続いた。手にした無線機は無用の長物だった。無線内容はゴルフ場内のすべてのキャディーが聞くことになる。A氏は「5時間顧客と密着して移動するため、抜け出す方法がない」とし「キャディー交替は非常に珍しいこと」と話した。

「私達は島のように働いています」14年目のキャディーB氏は言った。ゴルフ場18ホールの平均面積は90万平方メートル（約27万坪）。キャディー1人が最大4人で構成された1チームで試合支援を行う。ラウンドが行われる5～6時間、キャディーは各ホールに散らばって働く。ゴルフ場には最小限のCCTVテレビだけが設置される。ゴルフ場のカートにブラックボックスを設置したゴルフ場も多くない。「秘密保障」は顧客に提供するゴルフ場の主要サービスの一つだ。広々とした野外芝生はどこでも開かれた空間に見えるが、外部の接近と視線が完全に遮断されるという点で閉鎖空間と変わらない。

セクハラ・パワハラを助長する飲酒・賭けゴルフ

「見る目のない」ラウンドでキャディー労働者に向けた暴言とパワハラは日常になる。必須コースのように付いてくる飲酒、賭けゴルフはキャディーの「感情労働」を加重する。B氏は「10チームのうち9チーム程度が酒を飲む」と話した。コース内の付帯施設である休憩所にはマッコリ、清酒、ビールなど酒類が揃っている。規定上、外部飲食物は搬入禁止だが、顧客がタンブラーやゴルフバッグに入れて密かに持ち込んだ酒を取り出して飲む時、キャディー一人で制止することは不可能だ。

B氏は「一度は外部から搬入した酒を飲む顧客を制止し、試合中ずっといじめられた」と話した。方法も多様だ。「まずルールを無視して、短いまま短距離ショットだけ打ちます。キャディーはショットを打った時に「グリーンサーブ」をしなければならないのですが、仕事をもっとさせるのです」（A氏）「ボールをとんでもないところに打ってくるのは日常茶飯事です。クラブ（ゴルフクラブ）を捨ててきた後、探させることもあります。見つけられなかったらキャディーが賠償しなければならない点を悪用するんです」（C氏）試合中の路上放尿も一度や二度ではない。D氏は「キャディーがいてもズボンを下ろしておしっこをする。顔をそむけて見ぬふりをする」と話した。

韓国レジャー産業研究所によると、昨年、国内ゴルフ人口は515万人で史上初めて500万人を超えた。老若男女が楽しむ大衆スポーツになったというが、性差別は相変わらずだ。首都圏のゴルフ場2ヵ所は男性客だけを正会員として受け入れ、昨年6月、国家人権委員会からは是正措置を勧告された。なんと40年近く続いた「伝統」だという。一方、全国500ヵ所余りのゴルフ場で働くキャディー3万2000人余りのうち、女性の割合は80%に達する。

「ゴルフを始めてから、初めてフィールドラウンドに出るのを『頭を上げる』と言うじゃないですか。この言葉が性差別であることを指摘する報道が最近になって出てきました」とキャディーE氏が述べた。彼

は「ボールが入る『ホールカップ』を女子性器になぞらえ、ゴルフ用語を性的隠喩で表現することも多い。女性卑下表現を女性キャディーがいる席で平気で行う」とし「ゴルフが大衆化して以来、ゴルフ場のマナーを守る人はさらに貴重になった」と述べた。「新型コロナウイルス感染症の拡散でスクリーンゴルフばかりしているので、ゴルフ場マナー教育は十分にできていない感じです」

セクハラ被害事実を知らせると「退社勧告」

キャディーたちはパワハラ、セクハラ被害事実をゴルフ場側に知らせても問題が解決されないと話す。むしろ会社側と顧客が「一方」になる時が多い。顧客のキャディ評価は口止めの別名だ。過去には大多数のゴルフ場が評価項目に「容貌断定」項目を含んでいた。15年目のキャディーF氏は「顧客評価はキャディーが最も恐れているものの一つ」とし、「不当な待遇を受けても不親切だという評価を受けるのではないかと心配してもみ消すことになる」と述べた。

被害事実を知らせれば、会社側が2次加害をする場合もある。2020年、キャディー練習生だったG氏（当時23歳）は、男性顧客にセクハラ被害を受けた。顧客は8番ホールを回る途中、ゴルフクラブを持って「アドレス（準備）」の姿勢を取っていたが、突然ゴルフクラブでG氏の尻を叩いた。「お姉さん、私を通報するの？」とも言った。G氏は事件当日、職場の上司にこのような事実を知らせたが、帰ってきた答は「問題視するならば退社しなければならないこともありうる」ということだった。G氏は事件発生6日後、顧客を強制わいせつの疑いで告訴した。ゴルフ場には辞職届を出さなければならなかった。仁川地裁富川支部のキム・テヒョン判事は昨年11月、該当顧客に罰金600万ウォンを言い渡した。1審判決文には「ゴルフ場側で顧客に対する正当な異議を提起する職員にも不利益を与えることを示し、所属職員が顧客に対して不利な陳述をすることは容易ではない」という内容が盛り込まれた。加害者の無罪主張を排斥したのだ。2018年、仁川ドリームパークCCゴルフ場ではキャディーを管理する用役業者が顧客に暴行されたキャディーを懲戒し論難になった。

キャディーたちは「私たちは召使いではない」と口をそろえた。A氏は「キャディは専門知識を持った競技補助員」とし「ラウンドに出る度に顧客の同伴者という考えで臨む」と話した。B氏は「私がライ（ゴルフでボールが止まっている位置や状態）を見てあげて、ボールがよく合うとその快感は言葉にできない」とし「私たちが顧客を思うだけにキャディーを尊重する文化が定着してほしい」と話した。

出典：<https://www.khan.co.kr/national/national-general/article/202303290947001>

07 週間スポーツニュース

赦免「トン」と蹴飛ばして送球…鄭モンギョ KFA 会長の荒唐無稽な弁

<http://www.globale.co.kr/news/articleView.html?idxno=23426>

「スポーツ中継では見られないあの場面」… ファンもいいし、チームもいいし

<https://www.donga.com/news/Opinion/article/all/20230402/118646241/1>

インニ、選挙を控えて強くなったイスラム主義… U-20 ワールドカップも奪われる

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230330088600104?input=1195m>

蔚山市体育政策方向を決める体育振興協議会発足

<https://www.ulsanpress.net/news/articleView.html?idxno=501154>

「16歳スノーボード世界選手権チャンピオン」イ・チェウンが錦の帰郷

https://www.ytn.co.kr/_ln/0107_202303301303511481

西釜山圏唯一の甘川町野球部選手不足で解体の危機

<https://www.nocutnews.co.kr/news/5919520>

仁川ダイビング訓練プール1ヵ所だけ…学生選手たち「トレーニング不便」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230328108000065?input=1195m>

チョコレートを食べ断食まで…人権委「学生体操選手の人権憂慮」

https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1085295.html

学生運動部の選手が慶尚北道に集まって…今年696人転入

<https://www.segye.com/newsView/20230331514419?OutUrl=naver>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>